

お茶の水女子大学での交換留学

啓明大学
パク・ユ

ナ

もう4か月が経ちました。初めて日本に来た日は、この日が永遠に来ないかのように感じていましたが、いつの間にか修了式を迎えることになりました。私の交換留学生活は大小さまざまな挑戦の連続でした。韓国では当たり前だったコンビニで買い物をすることさえ、ここでは心の準備が必要でした。一人で飛行機に乗って日本に来て、日本語で会話し、日本語で勉強しながら生活することは、最初はとても大変に感じました。しかし、今ではそのような日常にも慣れてしまい、残りの1ヶ月という時間が逆に惜しく感じます。

初めて日本に来たときは、日本語で話すことすら不慣れで、果たして日本語で発表できるのか心配でした。実際、初めての発表を前に多くの準備をし、緊張のあまり前日はほとんど眠れませんでした。きっと緊張するだろうと思っていましたが、実際に発表を始めると、思ったより落ち着いて発表を終えることができました。その瞬間、自分が大きく成長したと実感でき、とても嬉しかったです。

ほとんどの留学生の授業は、教授が特定のテーマを説明した後、そのテーマを基に学生同士が自由に意見を交換する形式で進められます。この過程を通じて、日本語で自分の考えを表現することへの負担が徐々に減っていきました。最も面白かった授業は「日本語練習3」です。この授業では日本の多様な文化や社会について学び、留学生だけでなく日本人学生とも交流できたことが非常に意義深いものでした。日本人の学生と一緒に授業を受けながら自然に会話ができ、日語の実力だけでなく文化への理解も広げることができました。また、最も印象に残った授業は「日本事情練習2」です。この授業では日本の小学校と直接交流でき、なかなか体験できない特別な時間でした。子どもたちと一緒に活動し、彼らがくれるポジティブなエネルギーを感じることもできました。日本の学校給食を体験できたことも良い思い出になりました。正規の授業に加えて、国際課が運営する文化教室にも積極的に参加してみることをおすすめし

ます。私は着物教室、茶道教室、生け花教室に参加し、日本文化を体験し楽しむことができ、とても意義深い経験でした。

授業がない日は旅行に出かけ、日本各地を体験しました。池袋、新宿、渋谷など東京の代表的な観光地はもちろん、埼玉、鎌倉、北海道、京都、大阪などさまざまな地域を訪れました。特に北海道は韓国から出発するよりも航空券の料金がずっと安いので、交換留学生にはぜひ一度訪れてみることをお勧めします。

最も印象に残った旅行先は埼玉の川越です。メインストリートの近くには有名な神社もあり、一度に見て回るのに良かったですし、観光客が比較的少なかったので、ゆったりと旅行を楽しむことができました。川越では着物体験もでき、学生証を提示すれば割引が受けられるので、さらに満足のいく体験でした。クリスマスや12月31日のような特別な日には、留学生の友達と一緒に夕食を作って食べたり、学校の祭りに参加して貴重な思い出を作りました。

最後に、親切に相談に乗ってくださった指導教授の松島のり子先生と国際科担当者様、各科目の先生方に感謝の意を表したいと思います。そして忙しい中でも私の留学生生活を助けてくれたチューターの和田さんに感謝します。最後に、留学生の友達に心から感謝の言葉を伝えたいです。一緒に勉強できて楽しかったし、辛いことがあるたびにお互いの悩みを分かち合い、応援し合ったことが私にとって大きな力になりました。おかげで幸せな留学生活を送ることができました。